

応援動画がきっかけで交流が実現 パキスタンのオリンピック出場予定選手と オンライン交流を行いました

2月19日（金）、JICA パキスタン事務所のご協力のもと、高円寺小学校の5年生75人と、杉並区で事前キャンプを行う予定であるパキスタン・イスラム共和国の選手7人がオンラインで交流を行いました。

1月13日（水）、ホストタウン交流の一環として、内閣官房と連携し制作した応援動画をパキスタン・ウズベキスタンの2か国へ送りました。この動画がきっかけとなり、2月19日、高円寺小学校の5年生75人とパキスタンの選手とのオンライン交流が実現しました。

【ウズベキスタン応援動画】 <https://youtu.be/q5LUUalCec4>

【パキスタン応援動画】 <https://youtu.be/47hpuCpHutI>

パキスタンは、7月14日～23日にかけて区内で事前キャンプを行う予定です。このうち、今回のオンライン交流には、陸上・水泳・馬術・射撃の選手7人が参加しました。パキスタンの首都イスラマバードをはじめ、カナダやロシア、オーストラリアからも参加してくれました。

交流に先立ち、選手からは児童に向け練習風景の動画が送られ、動画を見た子ども達からは歓声や驚きの声があがっていました。また、選手との交流の時間では、「競技を始めたきっかけは？」、「モチベーションを上げるための工夫は？」などの質問があがりました。

交流会の最後には、児童から選手に向け、必勝を祈願した千羽鶴が贈られ、選手からは「オリンピックを通して、杉並をはじめ多くの皆さんにパキスタンの事を知ってもらいたい」とのメッセージがありました。

パキスタンとは、昨年2月に東京2020オリンピックにおける事前キャンプを契機に、杉並区がホストタウンとなり継続的な交流を推進していくべく、「ホストタウン交流宣言」を交わしました。杉並区はこのほかにも、イタリアのビーチバレーボールチーム、ウズベキスタンのボクシングチームをホストタウンとして受け入れる予定です。

今後も3月1日（月）には、イタリアビーチバレーボール選手とオンライン交流を行い、3月13日（土）にはウズベキスタン大使館と交流会を行う予定です。



【問い合わせ先】

オリンピック・パラリンピック連携推進担当：03-3312-2111（内線3792）

総務部広報課：03-3312-2111（代表）